

2019 年 度 S 級 一 次 審 査 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第35回 京王電鉄杯				
●日程	平成31年4月12日	(金)	～	平成31年4月13日	(土)
●会場	エスフォルタアリーナ八王子				
●講師	非公開				
●スケジュール	平成31年4月12日 (金)				
	18:00 自宅出発				
	22:00 八王子着				
	22:30 クルーとミーティング				
	平成31年4月13日 (土)				
	9:00 会場到着				
	11:40 実技開始				
	13:20 実技終了				
●担当試合	平成31年4月13日 (土) 11:40 ～				
	対戦カード	慶應大学		VS	拓殖大学
	CC	早川 貴章 氏	U1	北村	U2 大井 陽平 氏
	講師／主任	非公開			
	講評	なし			
	自己の感想	クルーの所属府県の審判長のご尽力もあり、クルー間で事前連絡を取り合うことができた。割当決定後から当日までは、SNSで映像等を共有しながら、情報共有をすることができた。前日にホテルで顔合わせを行ってからは、すぐに早川氏の部屋でカンファレンスを行って、メカニクスや新ルールの確認を行った。 当日、会場入りしてからは、機材の確認や、担当試合の前の試合をクルーで見、再度メカニクスの確認等を行った。 試合中には、メインクロックがルール通りに計時されないケースや、ショットクロックが誤ってリセットされるケースなど、TOに関するアクシデントが何度かあったが、クルーで協力して、マジックタイム等を利用しながら、正しい時間に修正することができた。 反省点としては、私が判定したイリーガルスクリーンのオフェンスファウルに、コーチから大きなアピールがあり、オフィシャルワーニングに繋がったケースや、クルーの判定に対するヘルプができなかったこと等があげられる。オヴィアスな判定を積み重ねていくことやクルーチーフメンタリティーの重要性を改めて感じた。			